

≪秩父特別支援学校の活性化・特色化方針≫

種別	知的障害 肢体不自由	学部・ 学科	小学部・中学部・高等部 訪問部	R6.5.1 児童・ 生徒数	(男) 89 (女) 38	計 127
アクセス	秩父鉄道秩父駅から徒歩 30 分					
<教育課程等>						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒それぞれの障害特性や実態に応じた教育指導を実施 ・ 自立活動（時間における指導）を全学部で実施し、一人一人の教育的ニーズに対応 ・ 高等部は、生徒の課題別に教育課程の複数化を平成 29 年度から実施 ・ 令和 2 年度より新学習指導要領を踏まえ、下校時刻や週授業時数等を見直し新たな教育課程を編成・実施 ・ 令和 6 年度よりコミュニティ・スクールとなり、地域と共にある学校づくりを推進 						
<学校行事・部活動>						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 知的障害教育部門、肢体不自由教育部門ともに、全校をあげて取り組む「運動会」や「かがやき祭（文化祭）」などの学校行事 ・ P T A 主催で夏季休業中に行うサマースクール ・ 毎年芸術鑑賞会を実施（天満さんバイオリンコンサート・東京演劇集団「風」等） ・ 各学部や学年で発達段階に応じた目標を実現するための、宿泊学習、社会体験学習、修学旅行などの集団での行事 ・ 高等部部活動 運動部あり 運動部 A（特体連各種競技参加を目指したグループ）陸上・バスケ・サッカー 週 2～3 回実施 運動部 B（体力・健康維持を目的としたグループ）ダンス・ストレッチ 週 1 回実施 						
<家庭・地域との連携>						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校公開を年 2 回実施（その他、随時行事等において、学校公開を実施） ・ 交流および共同学習（秩父第一小学校・太田中学校・小鹿野高校）を実施 ・ 秩父地区特別支援教育研究会による連携（秩父地区の小中学校等との合同研修会） ・ 年間をとおした支援籍学習による地域の小中学校との連携 ・ 地域との連携・協働の取り組みとして、 <ul style="list-style-type: none"> ●ロードサポート事業 ●吉田龍勢祭り落下傘共同制作 ●読み聞かせ ●投げる教室 ●川の博物館、作品展示 ●秩父警察ひまわり絆プロジェクト ●小鹿野高校窓ふき清掃 <p style="text-align: right;">等を実施</p>						
<進路>						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 5 年度卒業生進路先 （高等部卒業生 16 名） <ul style="list-style-type: none"> ■一般就労 6 名 ■福祉的就労 10 名 <p>進路先開拓とともに産業現場等の実習を年 2 回 2 週間ずつ実施している。</p>						



共に学ぼう、共に伸びよう、共に未来へ

小学部目標

中学部目標

高等部目標

- ・ 身辺処理の基礎を築く。(知的)
- ・ 生活のリズムを整える。(肢体)

充実した日常生活のために

- ・ 身辺処理の技能、習慣を身につける。(知的)
- ・ 一日の生活の見通しを持って、生活のリズムを整える。(肢体)

- ・ 充実した日常生活に必要な基礎的・応用的知識と技能を身につける。(知的)
- ・ 基礎的な生活習慣を確立する。(肢体)

- ・ 将来に向けて、一人でできることを増やす。(知的)
- ・ 学習や行事を通して、経験の幅を広げる。(肢体)

安定した社会生活のために

- ・ 職業生活における必要な習慣形成や作業能力の基礎を養う。(知的)
- ・ 学習や行事を通して、一人でできることを増やす。(肢体)

- ・ 充実した社会活動を円滑に送ることのできる指示理解力や作業能力育成する。(知的)
- ・ 一人でできることを増やし、自己実現を図る。(肢体)

- ・ コミュニケーションの基礎を築き、安心して集団活動に参加できる。(知的)
- ・ みんなと仲良く活動し、人との関わりを豊かにする。(肢体)

よりよい人間関係形成のために

- ・ 自発的にコミュニケーションをとり、集団活動へ積極的に参加する。(知的)
- ・ 集団の中の自分を自覚し、信頼と協力の心を育てる。(肢体)

- ・ 集団生活の中でのコミュニケーションを通して、良い人間関係を築くと共に社会参加に必要な能力と態度を身につける。(知的)
- ・ 社会性を養い、自己表現の力を身につける。(肢体)

- ・ 元気な心と身体を身につける。(知的)
- ・ 心と身体を元気に保つ。(肢体)

健康な生活のために

- ・ 運動やスポーツを楽しみ、何事も最後まで取り組める気力や体力を身につける。(知的)
- ・ 心と身体の健康の大切さがわかる。(肢体)

- ・ 運動を楽しみ、生涯スポーツとして続けられる基礎を作り、心と身体の健康維持や就労に耐える体力を身につける。(知的)
- ・ 心と身体の健康維持を意識して、体力を増進する。(肢体)

- ・ 興味関心を広げ、意欲的に学習する。(知的)
- ・ さまざまな学習活動を通して、興味関心を広げる。(肢体)

心豊かな人生のために

- ・ 将来に向けて視野を広げ、興味関心を深め、向上心をもって学習する。(知的)
- ・ 社会に必要な基礎的な学力を身につける。(肢体)

- ・ 将来の生活に必要な力を伸ばすと共に、主体的に学び続ける資質や能力を高める。(知的)
- ・ 主体的に取り組むことで、社会に必要な学力を伸ばす。(肢体)

訪問教育部目標

充実した日常生活のために

安定した社会生活のために

- ・ 生活のリズムを整える。
- ・ 学習や行動を通して、経験の幅を広げる。

よりよい人間関係形成のために

健康な生活のために

心豊かな人生のために

- ・ 活動を通して、人との関わりを豊かにする。
- ・ 心と身体を元気に保つ。
- ・ さまざまな学習活動を通して、興味関心を広げる。

自己実現